

驛鈴がつなぐ松阪市と島根県浜田市

第4代松坂城主であった古田重治公が、今から約400年前の1619年に石見国浜田に転封され初代藩主となりました。

また、浜田の第12代藩主の松平康定公が、松阪の国学者本居宣長に贈った「驛鈴」は、現在もお松阪市のシンボルとして市民に親しまれています。

このように、松阪市と浜田市は歴史的なご縁を持つことから民間交流が始まり、平成28年4月2日には「驛鈴で結ぶ松阪市・浜田市 観光・文化交流協定」が締結され、両市の絆はより深いものとなりました。

石見神楽亀山社中（いわみかぐらかめやましゃちゅう）ご挨拶

島根県浜田市に継承される神職により整え確立された改正石見神楽を継承し、社中発足当初から地元の皆様、多くの神楽関係者の皆様、神楽ファンの皆様に支えられ活動して参りました。

神社祭礼での奉納神楽はもとより、神楽大会やイベント舞台も務め、石見神楽を通じて地域の活性化と浜田市の発信に微力ながら尽力しています。石見神楽の東京公演も当社中単独で務め、去る4月19日には通算8回目となる石見神楽東京公演を浅草公会堂で務めてまいりました。また、現在開催中の大阪・関西万博のE X P Oホールにおいて6月19日、20日の両日浜田市が総力をあげ取り組み、連日超満員で注目を浴び話題となった石見神楽公演にも参加いたしました。

このたび「驛鈴がつなぐ松阪市・浜田市文化交流事業 石見神楽松阪上演会」に初めてお招きをいただき、ここ松阪市で石見神楽が披露できますこと、大変ありがたく嬉しく思います。本日は、石見神楽を代表する演目をはじめ、この地域にゆかりのある演目「鈴鹿山」を盛り込みながら、厳選した演目で社中の粋を傾けて精一杯の舞を披露いたします。どうぞ「石見神楽を創り出したまち浜田」の石見神楽をお楽しみください。

演目

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 神楽（かぐら） | 4. 五條橋（ごじょうばし） |
| 2. 鈴鹿山（すずかやま） | 5. 恵比須（えびす） |
| 3. 大蛇（おろち） | 6. 頼政（よりまさ） |

上演に関する注意事項

- ・客席での写真・動画撮影は可能です。下記のルールを守って撮影してください。
 - ※フラッシュの使用は禁止。
 - ※三脚を使用した撮影は禁止。（報道関係者など主催者の許可を得ている場合を除く。）
- ・撮影した写真・動画のSNSへの投稿は可能です。下記のルールを守って投稿してください。
 - ※動画の投稿はショート動画に限ります。
 - ※全編動画、全編がわかる形での投稿は禁止。
- ・上演中は指定の席にご着席いただき、携帯電話は電源を切るか、マナーモードの設定をお願いいたします。

※石見神楽について、詳しくは石見神楽公式サイトをご覧ください。

石見神楽 - 島根県浜田市 石見之国伝統芸能 - 石見神楽公式サイト

<https://iwamikagura.jp>

